

# 家族で連絡方法を決めておきましょう

緊急の通信を優先させるためにも、  
家族間の連絡は通話ではなく、別の手段を利用しましょう。

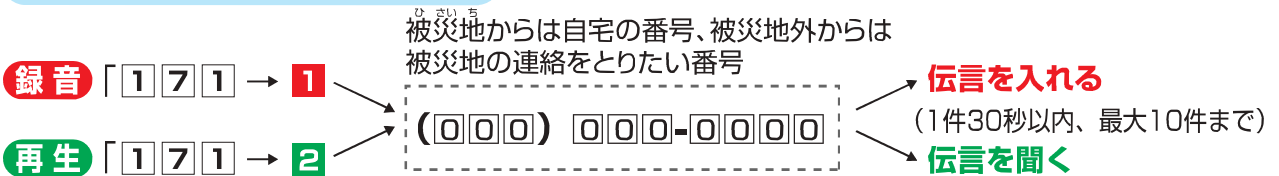
- NTT災害用伝言ダイヤル「171」を利用します。
- 公衆電話は優先的に回線が割り当てられ、つながりやすいので、近所の公衆電話の場所はチェックしておきます。  
(右ページにも記入しましょう)
- 被災地にかけるより、遠隔地にかけた方がつながりやすいので、遠隔地の親せきに各自が連絡を入れて情報を集約してもらうことも可能です。

## 災害用伝言ダイヤル

「171」を覚えておこう！

毎月1日、正月三が日  
防災週間（8月30日～9月5日）  
防災とボランティア週間  
（1月15日～1月21日）は  
体験利用できます。

### 災害用伝言ダイヤルの使用法



一般電話（プッシュ回線、ダイヤル回線とも）、公衆電話、  
携帯電話、PHS\*等から利用できます。

\*一部事業者は除きます。



## 携帯電話では「災害用伝言板」も利用できます。

- メール機能を利用したサービスです。
- NTTドコモ、au、ソフトバンクモバイルなどで利用できます。  
(携帯電話会社に問合せ下さい)
- 使い方をあらかじめ確認しておきます。



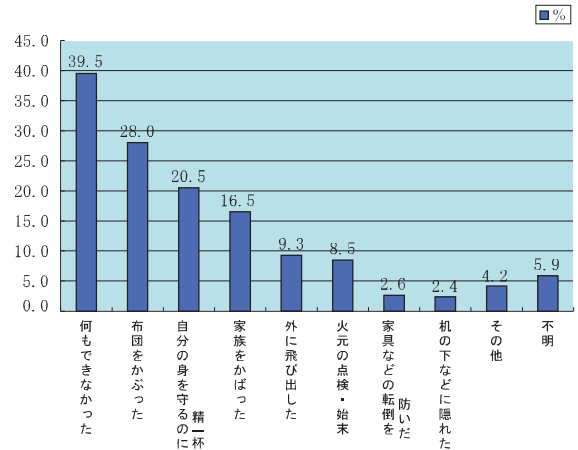
## ◆「何もできない」が約4割

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災。そのとき、人々がどういう行動をとったのかをアンケートしたところ、「何もできなかった」と答えた人が39.5%にのぼっています。人は恐怖感を抱くと、とっさに身動きがとれなくなったり、



パニックにおちいったりしがちです。いざというときに冷静に行動できないと、命にかかわる危険性も。地震発生時にあわてないためにも、いざというときどうしたらいいかを、家族みんなで話し合っておきましょう。

阪神・淡路大震災時にとった行動（複数回答）



〔阪神・淡路大震災における消防活動の記録〕神戸市消防局編